令和７年度 第８回定例(11 月)教育委員会議　会議録

令和７年度第８回定例教育委員会議が、令和７年 11 月 20 日(木)午後２時 30 分に役場第５会議室に招集された。

議　事　日　程

第１ 開　会　　午後２時 30 分開会

第２ 教育長挨拶

第３ 教育長活動報告

第４ 令和７年度第７回議事録の承認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・承認

第５ 審議事項

審議１　猿払村学校適正配置審議会の答申について・・・・・・・・・・・・・・・・承認

審議２　令和７年度第４回定例村議会案件について・・・・・・・・・・・・・・・・承認

第６　報告事項

報告１　教育委員会関係人事について（11 月 30 日付）・・・・・・・・・・・・・・了承

報告２　市町村立学校職員の令和７年 12 月期における
勤勉手当に係る給与決定手続きについて・・・・・・・・・・・・・・了承

報告３　令和７年度猿払村文化祭等の結果につい・・・・・・・・・・・・・・・・了承

報告４　教育委員学校訪問について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・了承

第７　活動計画 令和７年 10 月 21 日(金)～令和７年 12 月 18 日(木)までについて・・・ 承認

第８　協議事項

協議１　教育委員学校訪問の実施について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・承認

協議２　令和８年「20 歳を祝う会」について・・・・・・・・・・・・・・・・・・承認

協議３　令和７年度第９回定例教育委員会議の開催について・・・・・・・・・・・承認

第９　その他　なし

第 10　閉　会

午後２時 40 分閉会

議事録署名委員　原本署名済

議事録作成職員　教育次長　阿部　孝好

第８回定例(11月)教育委員会議出席者名

〔出席委員〕	教育長	松浦隆史
	委員	榛澤弘章
	委員	小原裕美
〔欠席委員〕	教育長職務代理者	桧物誠
〔出席職員〕	教育次長	阿部孝好
	教育次長補佐	長屋篤
	教育指導員	藤田淳

○阿部教育次長：皆様、学校訪問お疲れ様でした。それでは、定例の『教育委員会議』を開催いたさせていただきます。教育長より『活動報告』と合わせてご挨拶いたします。

○松浦教育長　：はい。昨日、今日とですね視察訪問の方を実施しました。お疲れ様でした。休み時間の様子も、鬼志別小学校では見せてもらうって形でお願いしたんですけども、実際授業を見て、戻って懇談をしてっていう、その駆け足な感じだったもんですから、その場でよかったですねっていう形で終わっているので、この場では、もし、学校にこういうことをやった方がいいのかななんてことがありましたらですね、要望を受け止めるばかりじゃなくて、こちらもこうやって頑張ってくださいっていうのも考えていいのかなというふうに思っています。前回の教育委員会議の中でですね、拓心中学校の１年生のことをちょっとこう話題になっていたんですけども、今回、拓心中インフルエンザで学校閉鎖っていう形になりまして、別な機会に日程を改めて、訪問できるような形で今調整してますので、またもう１回、学校視察ご案内があるかなと思いますので、よろしくお願いします。私自身、10月26日に行われました学校祭、学校祭観に行ってですね、文化部の吹奏楽の発表ですとか、各学年の発表っていうのをですね、観ました。全校合唱も観てきたんですけども、あの子どもたち一生懸命やっていましたし、先生方も、その学級担任がとか、教科の先生がとかじゃなくてですね、みんなで色々こう、空いてる時間に力を合わせて、その子どもたちの成長を支えることをやってるなっていうのは、見てこれたかなっていうふうに思ってます。私、見て、どうしても教員目線でそういう取り組み、行事とか見ちゃうんですけども、その時にはなんかやっぱりこう、お家の方と生徒とのその距離っていうんでしょうかね、だんだん、中学生になってくると、うるさいなあいちいち、とかっていうふうに、親をこう、自立するっていうかですね、離れてくようなとこがあるのかなと思うんですけども、だいぶべったりな感じで、お家の人も衣装を直すためにですね、近くに寄っては、子供の衣装を直してあげたりとか、ボタン外れちゃったとかって言って、親に縫ってもらったりとかですね、なんか、そんなのを見ると、まだまだお子ちゃまというかですね、親のこと頼ってるし、可愛くてしょうがないなっていう、分からないでもないんですけども、それが、いつ、どのタイミングで、それは自分でやりなさいっていうふうになってくのかなとかですね、そんなのを見て感じたところです。あと、先日は猿払村の文化祭ありまして、小中学生の絵画の作品だとか、書道の作品とかを展示

しておりました。機会があったら見に来ていただけたかなとは思うんですけども、その前の7日、金曜日に少年の主張大会をオンラインで開催しまして、小学生が作文を発表するっていうなこともやりました。なんとですね、今回が第43回という少年の主張大会、小学生の発表です。もしかしたら、村内の大人の方で、自分も発表したことがあるという方もいるのかなというふうに思っているところです。先生方にとってはですね、準備とか制作の指導、発表の指導をですね、すごく丁寧にやってるので、大変なのかなって思うんですけども、大人になってですね、書道、絵画、作文を書くなんて機会はだんだんなくなってってしまうので、せっかくのこの小中学校の時期にそういうことをやって、そんなこともやったよねっていうお父さん、お母さんに今度なってってほしいなっていう、子供たちがそういうのやっているのを見て、頑張んなさいっていうようなお父さん、お母さんになってほしいなんてことを思っていたわけでございます。ここまでが挨拶になります。この後、座って、資料1番の説明をさせていただきます。資料1をご覧いただければと思います。10月の24日から今日までの活動報告をさせていただきます。主なものだけお話しします。10月26日日曜日ですけども、拓心中学校の学校祭、先ほどお話ししましたけども、生徒が活躍する姿を見ました。先生方も出演してました。ギター弾ける先生もいてですね、ちょっとかっこいいなって感じで、生徒と一緒にそういう表現するものを作ってるっていう感じがしたところです。続いて、10月の29日水曜日ですけども、31日まで拓中の2年生、コロナの罹患者が増えたってことで学年閉鎖、2年生の学年閉鎖でした。そして現在ですけども、インフルエンザの蔓延で、学校の視察もできないほどっていうことで、学校閉鎖となって、今日が最終日。今日までで、明日どうなることかっていうところなんですけども、そんな形になってます。それとですね、実は今言っていた鬼志別小学校も、先週ですね、11日から13日までが3年生、今日授業見ましたけども、インフルエンザによる学年閉鎖になっていました。先生もちょっとかかっちゃったっていうような話を聞いてました。どうも例年よりも流行早いってことで、他の報道で札幌とか旭川とかっていうような話が聞こえたなと思ったら、すぐにもう猿払にも来てるんだなっていうような感じです。続いて10月、またちょっと学校閉鎖の話をして、最近の話になってたんですけど、10月31日に戻りまして、宗谷管内の教育研究大会っていうのがありまして、それに参加してきました。枝幸まで行ってきたんですけども、小原委員は参加したことあるんじゃないかなとは思うんですけども、猿払村の先生方はほとんど、ほぼ99パーセントの先生が参加していましたし、この研究大会の学校会場が分かれていて、私は枝幸中学校の数学の授業を見に行ったんですけども、学年を2クラスに分けて、aチーム、bチームみたいな形で習熟度別の数学っていう授業を見てきたんですけども、他の猿払の先生方は複式の授業が見たいってことで、小規模の複式の学校に見に行った人もいますし、特別支援教育を見に行ったって方もいたのかなっていうふうに思います。そうやって選んで参加するっていうことで勉強するものなんですけども、輪番でですね、この研究大会って回ってくるんです。で、私の知ってる限り、去年、一昨年が利尻でやって、去年は稚内大会、そして今年が枝幸大会だったので、もうそろそろ猿払で来るのかなと思って、色々聞いてみたんですけど、来年は一応礼文大会というふうなことになってるようです。猿払に来る時にはですね、きっと先生方もちょっと構えて準備しなきゃいけ

ないのかな。例えば、島から来る人を迎えに行くとかですね。なんかそんなのも色々あるので、教育委員会もちょっと力を発揮しなきゃいけないかなと思って、まあまあ、来年は礼文だということでした。続きまして、11月の7日です。少年の主張大会のことです。先ほども話したんですけども、これ審査員がですね、村長を含め議会の議員さんとか社会教育委員の委員長さんとか校長会の会長さん、PTA連合会の会長さんとか、そういう方に審査員を依頼してやっているという形です。先ほども言ったんですけど、43回目というものになります。8日、9日、これもまた重なるんですけども、文化祭ですね。猿払村の文化祭がありました。小中学校の作品を出していただいたっていう他ですね、文化協会とか各サークル、団体から、書道、絵画、写真、生け花、凧作り、陶芸、手工芸品と、保育所の子たちの作品とか楽楽心の方の作品とか、ななかまどの会とか、いろんなところから協力いただいてやったものです。ここで伝えなきゃいけないのは、榛澤委員さんにも作品を提供していただいております。ありがとうございます。はい。続きまして、11月14日ですけども、猿払村の教育研究大会です。村の村研っていう先生方の研究をやっているんですけども、それの村の中だけでの研究大会です。管内全体ではなくて村でやって、毎年やってるものです。それの研究授業がですね、11月14日にあったんですけども、鬼志別小学校が会場でした。授業参観とかやったんですけども、先ほど鬼志別小学校で説明の中に、2年生と4年生と5年生が授業公開しましたっていうことで話されてたと思いますけども、なんとですね、授業をやった後に研究協議やって、その助言の先生っていうのを呼ぶわけなんですよね。で、助言の先生ってよく教育局の指導主事の先生に来てもらってお話いただくっていうのが多いんですけども、ちょうど他の稚内市だったでしょうか、研究会ぶつかって同じ日だったもんですから、指導主事が来れませんっていうようなことだったんでしょうかね。あの猿払村に縁のある先生、浜鬼志別小学校の先生でですね、武田先生っていう方ですね。榛澤委員、分かりますか？武田先生。分からないですかね。武田望さんですか。先生、今、枝幸小学校の先生なんですけども、なんとこの方は、大学生のボランティアだったり、わくわく学習会とか、そのOBの方で、今、未来塾の、繋がってるというかですね、教育大学の学生の時から猿払村に関わっていただいた先生が採用になって、浜鬼小の先生になりました。で、今は異動されて枝幸小っていうことなんですけども、そういう方にも協力いただいて研究会をやったっていうことで、なんかこう、縁のある方がこう来てくれるってのはすごく、そして褒めていただいたってことでですね、嬉しかったななんてことを思ったわけです。ちょっとこう、自分の感情がこもった活動報告になりました。はい、以上になります。

○阿部教育次長：はい。それでは、前回の『議事録の承認』をいただきたいと思います。内容の方確認いただけたかと思いますが、桧物委員さんからですね、後段の、先ほど教育者のお話にもあった中学校のいろんな生徒間のトラブル、直接的な表現でしたり、特定につながるのでちょっと削除してほしいというところが電話で連絡ありましたので、一応、少し内容のやり取りの部分だけちょっと割愛をさせていただいて、議事録整理しておりますので、それ以外はそのままお配りした内容となっておりますので、署名の方いただければと思います。

≪各委員署名≫

はい、ありがとうございます。それでは、『審議事項』説明させていただ

きます。資料 2 番になります。先ほどの活動報告の資料の中でいきますと、11 月 10 日になります。学校適正配置審議会、第 2 回目の審議会を開催いたしまして、浅茅野小学校の統廃合についてということを議題として適正配置審議会開催しまして、終結ということで答申がまとまりましたので、翌日、会長を引き受けていただいた小俣孝範さんから教育長に答申書という形で受理をしております。内容の方を説明させていただきますが、諮問のありました次の事項について、下記の通り答申します。ということで、まず、村立浅茅野小学校の令和 9 年度統廃合の適否についてということで、限定の説明は省略いたしますが、状況から保護者、自治会の要望を尊重し、令和 8 年度末ともの閉校はやむを得ないものと判断するということで適とするということでの答申がまず 1 つ目です。2 つ目、村立浅茅野小学校の統合先を村立鬼志別小学校とすることの適否についてということでありますが、こちらも、時間をかけて話し合われた保護者、地域自治会の要望が適当であると判断し、鬼志別小学校とすることが望ましいと判断するということで答申を受けております。3 つ目として、その他村立学校の統廃合等についてということで、ここは諮問の中ではその他の事項ということでしたが、審議会の方からも統廃合によって、浅茅野小学校が閉校、そして校舎が空き校舎となるというところが非常に今後の地域コミュニティでしたり、特に災害時の避難場所といった機能についても低下することが懸念されるというところが、1 回目の中でも話し合われ、審議会でも出されていたところです。ぜひ利活用が図られるように、十分検討されるよう審議会からも意見させていただきたいということでの内容となっております。はい。こちら 3 つが適正配置審議会からの答申ということで、受理をさせていただいたところです。それでこの教育委員会議の中でも、この答申を受けて、浅茅野小学校の統廃合についてということで教育委員会としての見解をまとめてさせていただきたいと考えるところなんですけども、答申の通り、統廃合をするということを委員会としても決定し、設置者である村長の方に提案していくというところで異論はないでしょうか。桧物委員今日欠席しておりますので、後ほど説明はさせていただきたいと思っておりますけども、令和 8 年度末ですので、あと 1 年 4 か月ほどとなります。また鬼志別小学校への統合というところになってきますので、こちらを慎重に準備、そして統廃合後の活用について、非常に重たい案件となるかなと思いますが、教育委員会としても考えなければならないことがたくさん出てくるかなと思っておりますのでこちらの方、教育委員会議の決定ということで進めさせていただきたいと思います。12 月の議会に、こちらの方、一応提案をするということになろうかと思いますので、後ほどの審議にも絡んできますので、よろしくお願いしたいと思います。はい。こちらが資料の 2 番となります。審議の 2 つ目となりますが、すいません、「令和 7 年度第 4 回定例審議会案件について」ということで、まだまとまっておりませんので、こういったものをが予定されますということでお話しさせていただきますと、まず 1 つ目、行政報告として、「全道大会等の結果等について」ということで、これまでに出場して終了したものを、そしてさらにまた新たに全国大会、全道大会に出場ががされるということがありますので、まとめて行政報告させていただきたいと思っております。最近のところでいくと、行政報告の中にも含まれますが、新聞でも拓心中学校の○○○○くんが全国大会での野球の大会で活躍されたですとか、鬼志別小学校の○○さん、小学 6 年生の女子児童なんですけども、北海

道の女子野球の選抜選手に選ばれて岡山県の大会に出場するということで新聞に大きく載っていたところです。50人近くのセレクションを勝ち抜いてメンバーに選ばれたということで喜ばしいことかなと思っております。そちらの方にも支援をしていきたいということでの行政報告。関連して、一般会計補正予算ということで計上させていただきたい事項としては、この少年団等の全国、全道大会の補助金等、学校関係の修繕費、色々と不具合等も実は多発している状況です。そちらの修繕費と、あと奨学資金ということで、学生に教育委員会独自の貸付金、大学でしたり専門学校に行かれる際に無利子での奨学金を制度として用意しているところなんですが、原資として持っている予算が底をついたと言いますか、全部貸し出しに回ってこれから返ってくる状態にあるんですけども、そちらが一旦、当初に600万ほどですね、用意をして、それを貸し付け、それを原資に貸付けしてきたんですけども、その600万が全てこう一旦学生たちの方に貸し出しに回っているというところで、今後、来年度以降貸し付けする原資を一定程度確保するため、補正予算をちょっと組みたいということで考えています。それと、こちらも大きな問題となりますが、給食センター、先ほど管理栄養士が今、後ほども報告しますが、退職により不在という状況なんですけども、調理も退職があって、さらに12月末の退職ということが予定されておりまして、募集をかけていますけども反応がないということで、外国人材を活用したいということでの予算を計上させていただきたいと思っております。給食センターの調理員は村の職員ではなくて、猿払振興公社ということで第3セクターの職員なんですけども、そちらの方も人員不足がもう深刻な状況であるというところで、振興公社との協議の中で、直営と言いますか、村の直接の会計年度任用職員として外国人材の方に求人をして確保を進めていってほしいということで村の方とも協議がされまして、こちらの関連の予算を挙げさせていただきたいと思っております。ちょっとまだ金額が。精査も今後入りますので、次回の教育委員会議の中で改めてご説明をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。以上が、第4回定例村議会への計上をさせていただきたいという案件の一覧となります。ここまででご質問等ありましたらお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。大丈夫でしょうか。

○委員一同　　：はい。

○阿部教育次長：村内の人材不足はなかなか深刻な問題、先ほど支援員ももう少し入れて欲しいというお話がありましたけど、本当に口コミでいろんな方をにお願いをしたりしているところなんですけど、なかなか新たな方というのは捕まえられていないというところが現状です。そちらの方もお伝えさせていただきます。続いて『報告事項』説明させていただきます。報告の1番として「教育委員会関係人事について」ということで、11月30日付、今月末をもって村費で採用しておりました学校給食センターの業務係の管理栄養士の高田が退職をして地元に帰るという、新篠津村が出身なんですけども、そちらの方に戻るということで、30年からでしたので、31、2、3、4、5、6、7、7年間、7年8ヶ月ですけども勤めていただきました。退職ということで残念なんですが、今そのような形で後任も探しているけど、なかなかまだ見つかっていないという状況となっています。続いて、資料3番です。市町村立学校職員の令和7年12月期における勤勉手当の給与手続きについてということで、資料3番、ご覧いただきたいと思います。小原委員は教員時代に、この対象職員ということでされ

ていたかと思いますが、12月のボーナスの勤勉手当の成績率、特に優秀、優秀ということで、一定の枠が猿払村に配分されております。その中で人数を決定して、この特に優秀な方Aという方、そして優秀はBということで評価がされますが、勤勉での割り増しがされるという人数を決定するということになっています。このようにですね。猿払村に人数配分がされて、そしてこの人数に応じて推薦をし、そして調整委員会という段階を経て決定されるという流れになっておりますけど、このように12月の勤勉手当の関係のA判定、B判定の方が、ちょっと名前は載せられませんが、このように決定をしたところですということをご報告させていただきたいと思います。このA、B以外の方、みんな良好ということで、標準のCという評価となっております。よろしくお願いいたします。続いて、資料4番になります。「令和7年度猿払村文化祭等の結果について」ということで、表裏ありますが、まず11月7日に行われた第43回少年の主張大会です。43回ということで、歴史ある大会となっております。実際には集合せず、各学校をオンラインでつないで、こちらの会議室を会場に主張大会を実施するというスタイルでここ4年ほどやっております。このように、最優秀、優秀、優秀に漏れた方は努力賞ということで、1名当日欠席がありましたので、8名の主張をいただいたところです。そして、下段から、文化祭の文化団体作品展についということで、8、9日ということで、出展いただいた方々の一覧を掲載させていただいております。来場者については、延べ347名ということとなっております。裏面が、この文化祭の関係の小中学生の書道絵画展ということで、審査をして表彰しております。表彰が決定しておりますので、このように、書道の部、絵画の部ということで、金、銀、銅ということで3賞決定させていただいております。当日ご覧にもなられた方もあろうかと思いますが、このような形で小中学生の作品展を実施しましたということを報告させていただきます。報告の4番については、「教育員学校訪問について」ということで4校、昨日と今日で終えられましたが、中学校実施できませんでしたので、なんとかもう1回、中学校の訪問を設定したいと考えております。訪問した結果も、次回の教育委員会議の中でまとめたものを報告させていただきたいなと考えているところです。よろしくお願いいたします。とりあえず、最後までちょっと説明をさせていただきます。資料5、『活動計画』になります。ご覧いただきたいと思います。当面1ヶ月の予定となりますが、11月25日、自治会長会議ということで、教育長と私、出席する予定となっております。11月26日は宗谷管内働き方改革推進会議、そして、もう1個あったかと思うんですけども、12月17日に管内教育長会議ということで、オンラインで教育長が招集されている会議が実施されます。ということになっております。ちょっとまた戻りまして、12月1日に第3回部活動地域移行検討部会ということで、今色々と検討進めている部活動地域校地域展開ということで、学校ではなく地域で中学生の活動を実施するということの検討部会、第3回目を予定しております。12月5日には、猿払村学校経営研究協議会ということで、村の学校の校長先生、教頭先生、そして教育委員会教育長ほか職員が参加して学校経営の研究協議を行うということを毎年1度実施しております。こちらを12月5日に実施することとなっております。12月9日から定例村議会ということで、11日までの予定となっております。12月16日には、北海道教育大学札幌校、未来塾でしたり、学生ボランティアということで様々な協力をいただいてる教育大札幌校に教育長

が訪問してお話をする予定となっております。はい。で、12月18日を次回の定例教育委員会ということで設定をしたいと思っているところです。それに関連して、8番の『協議事項について』なんですけども、次回の教育委員会議を、12月18日なんですけども、学校訪問も同じ日にしたいなと思っているんですけども、よろしいですかね。一応、5時間目。拓中の都合確認してにはなるんですけども、教育委員会議、大体14時からの予定なので、ちょっと後ろにずれるかなと思うんですけども、拓中の訪問を5時間目の時間あたりだとすると、おそらく13時20分、半とかですかね。藤田先生、記憶にありますかね。拓中の5時間目開始

○藤田教育指導員：えっと、たしか20分から。

○阿部教育次長：20分。そのぐらい。

○藤田教育指導員：この日、さっき鬼小の音楽発表会って言ってましたよね。だからできれば見てあげたいなぁって。多分昼からだと思うんですけど、その音楽発表会。と思うんですけど。

○阿部教育次長：なるほど。12月18日。そうですね。ぶつけると確実に被ってしまうので、昼からだったとすると。訪問と会議は同じ日にするっていうことではもう大丈夫そうですかね。

○榛澤委員　　：はい。いいですよ。

○阿部教育次長：いいですか。多分18日でもう予定されていただいてたんじゃないかなと思うんですけど。

○小原委員　　：はい。そうですね。

○松浦教育長　：鬼小コンサートは1時15分から2時です。

○阿部教育次長：1時15分から2時。はい。そうすると、逆に訪問を別日に。訪問を完全に別でもいいですかね。

○小原委員　　：事前に日程が分かれば。

○阿部教育次長：学校の都合を全く聞いてないので、拓中の学校訪問をもしかすると、もしかすると年明けの1月っていうのも場合によってはあるかもしれないんですけども。では、教育委員会議を今ちょっとせっかくのお話がありましたので、14時15分で設定させていただきたいと思います。12月18日、訪問終了後ではなく実施で。ちょっと全く私の頭にはありませんでした。申し訳ありません。18日14時15分からなので、鬼小のせっかくの発表の場も、もし可能であれば参加後に来られる形で。14時15分からとさせていただきたいと思います。学校訪問は、そしたら、この教育委員会議日にというところは書いておりますけど、この後、拓心中学校と調整させていただいたのち、お知らせをしたいと思います。なので、12月18日は、今のところというか、訪問はとりあえずなしで進めたいと思います。はい、よろしくお願いします。

○阿部教育次長：協議の2つ目なんですけども、「令和8年20歳を祝う会について」ということで、来賓への案内文書お配りさせていただきました。小原委員は帰省のため不在ということで聞いておりましたので欠席ということで、係の方に戻したいと思います。榛澤さんは1月3日いらっしゃいますか。いらっしゃらない感じですか。3日。榛澤さんは3日の日は大丈夫。1月3日。

○榛澤委員　　：3日。はい、大丈夫。毎年出ています。

○阿部教育次長：じゃあ、出席ということで。ありがとうございます。はい、ありがとうございます。用意した議題は以上となります。先ほどちょっと教育長からもありましたけど、『その他』ということで、今日の学校訪問4校、昨日の浅茅野小学校と今日の鬼志別、知来別、浜鬼志別の4校見た中で、

逆に学校にもこうした方がいいんじゃない、ここはちょっと気になりましたっていうようなことも含めて。全体通しての感想でしたり、ご意見何かあればお伺いしたいなと思いますが。榛澤さん、いかがですか。

○榛澤委員　：偶然、0.1 を教える数学、同じとこやってましたよね。浜鬼小と。あれ、なんか雰囲気あんなに違うんだなと思って。いや、比べるわけじゃないけど、色々そのプロフェッショナルが教えるんだからそうなのかと思うけど。

○阿部教育次長：使う道具だったりとか、多分アプローチの仕方もきっと

○榛澤委員　：そう。なんかちょっと比べちゃったのはいいのか悪いのかあれだけど、ズバズバ当ててった方がいいものなのかなと勝手に思ったりする。いや、そんな色々あるでしょうけどね。なんか雰囲気は○小よりもこちら○小の方が、***のような気がした。

○阿部教育次長：そうですね。少数点のっていうところでいくと、アプローチがだいぶ違いがあるんだなっていうところはありましたね。正直あれですかね、教育長、この単元のそれこそ教え方なんてのも、その先生のそれぞれの研究だったり準備だったりで相当差はあるのは普通なことでしょうか

○松浦教育長　：難しいんですけど、その学級の子供たちの実態に応じて指導方法を変えるとかっていうのが、綺麗な言い方をするとそうなんですけど、先生の力量っていうのも実はやっぱりもちろんあるので、タブレットを多く活用してやれてるかなっていう先生と、昔ながらの黒板を大事に、書くことも大事なので、黒板を使うっていうのも、ノートを取ることも大事ですけど、いろんな手法があるのかなと。子供が 1 番活躍できている授業になってるのが 1 番いいんだと思うので、○小のやり方も○小のやり方も、そのお子さんがそれがマッチしてればベストなのかなとは思いますけど。

○阿部教育次長：小原委員いかがでしょうか。

○小原委員　：全部の学校をこう短期間で回るっていうのはなかなかなかったので、すごく新鮮でしたし、それぞれの学校のカラーがあるなと思って見させていただいたんですけど、それぞれの学校のカラーがある中でも、それぞれ担任の先生が工夫されて授業を頑張っている様子が見られて、はい、これからも頑張っていただきたいなというふうに思って見ていました。

○阿部教育次長：ありがとうございます。今日は長丁場でちょっとお疲れかと思いますが。はい。そしたら、一旦ちょっと中学校は実施はしたいと思うんですけど、だいぶ空いちゃう可能性もありますので、一旦、学校にお返しする何かは拓中の実施を待たずに考えたいなと思います。ちょっと私も実はメモの中で、机のかなり大きな子が小さい低さで、逆に小さい方が大きかったりのような逆転現象が起きてたりとか、実は春の時も机の高さが気になりますねっていうのはあって、学校の方にもお返ししたところなんですけども、実際どうなんですかね、タイミング的に、年 1 ぐらいなんですかね、机の調節するっていうのは、なんかいつも気になるんですけど、あんまりこう、変わらないなっていうのがあったりはするんです。子供たちで勝手に多分直せないんタイプだと思うんですけど、養護教諭時代の経験からすると、机の高さの調整って、そんな、そんな、しょっちゅうやらない感じですか。

○小原委員　：そうですね、大体学期、年度の初めに揃える感じで。そうですね、はい。

○阿部教育次長：じゃあ、ちょっとすると、3 学期もこのままの可能性もなきにしもあらずとか。

○小原委員　：ちょっとかわいそうにちょっと見えたので。

○阿部教育次長：ですよね。ちょっとなんか、すごいおっきな子が、なんか体を小さくして。私も気になったところです。はい、そこはそうですね。明らかにちょっとサイズがあってない方は早めに変えていただきたいというようなこともちょっと伝えていければなと思います。

○松浦教育長　：例えば、学校保健委員会は参加されてたかもしれないですけど、そういう中で、その机の高さと、視線っていうか、視力低下とか、こういう状態になっちゃう子もいるし、背中曲がってやる子もいるので、何かしら養護教諭の先生と連携しながら、私は教務主任をやってた時には、養護教諭の先生に、身長の高さによって、机の高さと何番を使ったらいいんだろうかっていう調整で、教室に何個とかっていうのをやっていた方なので、そういう養護教諭の先生が集まるところで話題提供してみるのも1ついいのかなとは思いました。

○阿部教育次長：それでは、閉じてよろしいですか。

○小原委員　　：はい。よろしいでしょうか。先日、就学児検診参加。保護者として参加させていただいたんですけれども、毎年ああいう流れで運営している感じですかね。

○阿部教育次長：検診はそうですね。

○小原委員　　：それぞれの歯医者さんと病院とで、そこでちょっと1つ気になったのが、他の患者さんがいる中にこう、今回、人数がとても多い学年だったので、結構みんなばーっていて、結構ざわざわした環境で、他のお客さん、お客さんじゃなくて患者さん、具合悪い方もいる中で、ちょっとそういう環境で検診するのはちょっと気になるなっていうふうに見ていて、お医者さんの都合とかもあるんでしょうけれども保健センターとかと連携をして、保健センターとかでできたら、そういう問題も解消できるのかななんて思いながら。はい。見て、実際に受けていたんですけれども、はい。

○阿部教育次長：実際、待ち合いは他の患者さんと同じく中央のところで待ってっていう感じですよね。

○小原委員　　：そうですね。始め歯科診療所で、その後病院に流れて行ったんですけど、結構もう病院でみんな待たれていて、ちょうど聴力検査をされてる方がいて、で、看護師さんもこれから検査するので、静かに待っててくださいって言ってたんですけど、たくさんみんな並んでるので、その看護師さんのお話ももうあまり聞かれてない方もいて、ざわざわした中で待ってたので、ちょっと、そうですね、どうなのかなって思いながら。

○阿部教育次長：場所を変えるっていう、おそらく、先生の診察の流れの中で、きっと組み込んでというところだったのかなと思うんですけども、そうですね。特に今年インフルエンザ流行ってる中でのっていうところもあったので、何かこう場所を変えて別場所でできるとか、保健センター隣にあるので、そちらでできる要素はあるのかなんかもちょっと含めて、はい。実際、同じ日に歯科をやってそのまま内科の方にっていうところの流れそこはちょっと、多分保護者さんの負担も考えると別々にっていうこともならないと思うんで、ああいう、同じ日にこっち、終わったら次こっちっていう流れは変えられないのかなと思うんですけど、やり方も含めてもし変えられる要素があるのであれば、せっかく実際に参加されて感じられたというところだと思いますので。ちょっと担当の方にも確認をしていきたいなと思います。

○小原委員　　：はい。お願いします。
○阿部教育次長：じゃあ、よろしいですかね。はい。長い時間ありがとうございました。
　　会議を閉じたいと思います。ありがとうございました。
○全員　　：ありがとうございました。

≪終了≫